

第 7 回アジア防災閣僚級会議に参加し講演や展示を実施しました(2016/11/2-5)

テーマ：国際防災会議，世界津波の日
 場所：インド・ニューデリー

2016年11月2日から5日，インド（ニューデリー）にて第7回アジア防災閣僚級会合（The 7th Asian Ministerial Conference on Disaster Risk Reduction）が開催され，今村文彦所長・教授，保田真理助手（災害リスク研究部門），林晃大助手（寄附研究部門）が参加し，講演や展示を実施しました。会議には主催国であるインドからモディ首相のほか，UNISDRのロバート・グラッサー事務総長特別代表（防災担当），日本からは二階俊博 自民党幹事長らが出席し，防災や減災への取り組みの向上を目指す「デリー宣言」の採択に向けて議論しました。会合にはアジア・太平洋地域など約60カ国からの代表や防災専門家ら約1100人を含む計約4千人が参加しました。

会議では特別セッション「世界津波の日」が設けられ，今村文彦所長がパネリストとして登壇し，グローバル津波評価（過去400年間）を実施した結果を報告しました。また，Private sessionでは，東京海上日動（株）との産学連携活動を紹介し，高く関心を持って頂きました。展示では，保田真理助手及び林晃大助手が，津波工学研究分野や寄附研究部門での研究成果として，産学連携研究（津波リスク評価），防災教育（結プロジェクトなど）とその他の社会貢献活動などについて，パネル展示や資料での紹介を行いました。



東京海上日動 長村氏（右1人目）と参加者



今村文彦教授



特別セッション「世界津波の日」参加者



仙台市伊藤副市長（左3人目）と
 展示ブース参加者

文責：今村文彦，保田真理（災害リスク研究部門）林晃大（寄附研究部門）
 （次頁へつづく）



東京海上日動 長村氏（左）と嶋田氏（右）と
今村文彦教授



パネル展示の様子（保田真理助手）



パネル展示の様子（林晃大助手）